

「日本技術士会近畿本部主催 部会・登録活動グループによる合同研修会」案内書
（テーマ「世界基準の動向とものづくり体制の変化」）

2015 年 1 月 26 日 日本技術士会近畿本部

[主旨] 従来、ものづくりの世界で ISO と言えば、品質 ISO9001 と環境 ISO14001 だけがよく知られていたが、現在は遥かに多くの ISO 規格が発行されてきているが一般には知られていない。この状況にあつて、企業経営の実態も大きく様相を変えてきている。今回は国際基準と国内基準に関連して、各部会及び研究会から具体的な実例を中心に発表して頂き、相互研鑽を図る目的でこの研修会を企画した。

開催日時 : 平成 27 年 2 月 21 日 (土) 13:00～17:30

場 所 : 大阪科学技術センター* 中ホール (受付開始 12:20)

参加費 : 会員 1000 円 準会員 500 円 非会員 2000 円 (何れも当日会場でお払い下さい)

申込先・期限 : 2 月 14 日 (土) 技術士会近畿本部 (裏面申込書で FAX 又はメールでお送りください)

(この研修会は CPD 対象の研修会です。CPD 票は当日配布します)

開 会 13:00 **〔開会挨拶〕** 日本技術士会近畿本部 近畿本部長 福岡 悟 (以下各位敬称略)

〔基調講演〕 (45 分) 「国際基準と国内基準の現状」

〔講演者〕 中西 正士 (電気電子部門、総合技術監理部門)

所属 日本技術士会近畿本部 ISO 研究会・関西 ISO マネジメントセンター

平成 21 年度 工業標準化貢献者表彰 (産業技術環境局長表彰) を受賞

〔講演概要〕

ISO (国際標準化機構) に関する基礎知識、ISO 規格及び JIS (日本工業規格) の体系・制定手順・規格を使用するときの留意事項を解説し、併せてマネジメントシステム規格として一般的に知られている品質や環境だけでなく、広い分野で適用する ISO マネジメントシステム (例えばアセットマネジメント、イベントマネジメントなど) があることを配付資料によって紹介する。

〔関連講演〕 (各 30 分)

1. 「製品の JIS マーク認証取得支援活動の紹介」

〔講演者〕 田中一朗 (経営工学部門) ISO 研究会、関西 ISO マネジメントセンター事務局長

〔講演概要〕 製造・販売している製品に該当する JIS が制定されていれば、審査機関の審査で所定の基準を満たし認証を受けることにより JIS マークを付して販売できる制度がある、しかし製造事業者にとって JIS 規格を満たすための技術ノウハウや認証の条件に適合させることは大きな負担があった。そこで関係する製品分野で専門性を有する技術士がチームを組み、事業者への支援活動を行ってきた内容を紹介する。

2. 「コンクリート防食の国際標準化への取組」

〔講演者〕 三品文雄 (上下水道部門) 所属 近畿本部上下水道部会

一般社団法人日本コンクリート防食協会特別顧問、日本ジッコウ株式会社取締役

〔講演概要〕

国際水ビジネスでは、アジア諸国が水環境の汚濁や水不足問題が顕在化し、下水道技術の必要性が高まっている。このような中、国際標準化に取り組んでいる内容を紹介する。

〔休憩〕 15:00～15:15

3. 「安全保障輸出管理について」

【講演者】 田代芳樹（経営工学部門） 勤務先 川重冷熱工業株式会社

【講演概要】 グローバル化が進む中、海外企業との関係が拡大するにつれて、大量破壊兵器の開発やテロリスト等に技術や製品が使われるリスクは高まる。従って、科学技術の進歩と公益の確保の両立が求められる技術士が、安全保障輸出管理を知ることは大変重要である。

今回は、我が国の安全輸出管理の枠組みや、関連する法律等を中心に概要を説明する。

4. 「グローバル SCM 展開と各個区規制対応の実情」

【講演者】 荒井一彦（経営工学部門）、サポート：圓尾忠晃（同部門）。勤務先 オムロン株式会社

【講演概要】 最近では産業用制御機器事業のグローバル展開が加速する一方、家庭用製品から始まった様々な規制が、産業用機器にも広がってきている。その結果、スピーディで柔軟性のあるグローバル・サプライチェーン運営と、これら規制への効率的な対応の両立が課題となってきた。本講演では、現在のサプライチェーン運営体制と各国規制対応への取組概況をご紹介します。

5. 「TS16949*取得に際しての生産管理システム構築事例」 副題 「Excel だけで生産管理システムはできる」

【講演者】 北村 友博（情報部門） 近畿本部副本部長、ピークコンサルティンググループ代表

【講演概要】 メイン顧客からTS16949取得を指示され、高価な生産管理システムの導入を覚悟した中小製造業が、どのように自社の生産管理業務を、システム化したか紹介する。システム化はソフトウェアを導入することと信じ込んでいる人が多いが、実はそうではない。重要なことは、必要な情報が、必要な人に、必要な時に、正確に伝達されるよう、一連の業務をシステムチックに整備することである。これが達成できれば、高価なパッケージソフトを購入する必要はない。デスクトップのExcelだけでも生産管理システムが構築できることを説明する。

(TS16949=ISO/TS 自動車生産および関連サービス部品組織の ISO9001 適用に関する固有要求事項)

6. 「3Dプリンターについて」

【講演者】 木藤 茂（金属部門） 木藤技術士事務所

専門分野：3Dプリンター関連（造形、原料粉末調整他）、電子デバイス用金属箔粉材料（導電材料、電磁波遮断材料等）、放射線遮蔽材料、他

【講演概要】 3Dプリンターの歴史と現状について説明する。まず、光造形法・熱溶融積層法・レーザー溶融積層法等の概要と適用材料について説明。次に、どのような用途があるのかを具体例で説明後、経済産業省主導で進めている TRAFAM の概要を説明する。

閉 会 17:30

―――「日本技術士会近畿本部主催 部会・登録活動グループによる合同研修会」出席申込書―――

申込先：公益社団法人 日本技術士会近畿本部 FAX 06-6444-3740 メール pe@ipej-knk.jp

出席者氏名		区分	会員・準会員・非会員	技術部門
ご住所			電話番号	

・会員の方は、ご住所記載の必要はありません。電話番号欄には緊急時連絡番号をお書きください。

*会場案内：〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター Tel. 06-6443-5324.

大阪方面・難波方面より（所要時間約15分）、地下鉄四つ橋線本町駅下車28号出口北へ徒歩5分

新大阪方面より（所要時間約30分）、地下鉄御堂筋線本町駅下車2号出口西へ徒歩8分、靱（うつば）公園北東角